

税の作文・標語 受賞者の紹介

税の意義や役割を正しく理解してもらうことを目的とした「税の作文」「税の標語」の入選作品が決定しました。

令和7年度の受賞者のうち、町内中学校生徒、湯浅町在住の高校生を紹介します。

●中学生 作文の部

和歌山県租税教育推進連絡協議会賞

『みんなで創る、未来へのバトン』

湯浅中学校2年

勘佐 華蓮

湯浅税務署長賞

『税の仕組み』

湯浅中学校3年

増元 志斗

湯浅町長賞

『故郷へと続く架け橋ふること納税』

湯浅中学校2年

田伏 彰真

湯浅納税協会会長賞

『災害と税』

湯浅中学校2年

谷本 梨緒

大桑教育文化振興財団理事長賞

『キャッシュレス納付』

湯浅中学校1年

小野田 蒼一

大桑教育文化振興財団理事長賞

『社会を支える税』

湯浅中学校3年

坂田 鍊汰朗

●中学生 標語の部

湯浅町長賞

『納めよう あなたの税が 動かす社会』

湯浅中学校2年

上口 摩怜

有田地方租税教育推進協議会会長賞

『税金はみんなを守る 大事な仕組み』

湯浅中学校2年

中 真人

●高校生 作文の部

和歌山県知事賞

『税から広がる安心と笑顔』

耐久高校1年

上野山 侑花

【大桑教育文化振興財団理事長賞 受賞】

『社会を支える税』

湯浅中学校3年

坂田 鍊汰朗

ワクチンの確保、PCR検査、布マスクなど日本で新型コロナウイルスが大流行して政府は様々な対策にお金を使ってきました。2020年度は累計73兆円もの国家予算が使われました。私たちが感染におびえている一方で政府は適切な税金の使い方を判断し、対策を立ててくれました。社会が混乱したとき国民と政府で協力することはとても大切だと気付く良い機会になりました。

お母さん、お父さんが働いてもらったお給料から所得税、自分たちが買ったものに消費税。その他にもたくさん税があつて、その使い道を知らないと不信に思うことがあります。僕もコロナウイルスが流行するまで税金がどのように使われているのか全く知りませんでした。でも、ニュースやスマホの記事などを見るとコロナ対策に使われる税金について詳しく知ることができました。自分が関わっていることについて知識を蓄えておくことが国民と政府との協力に繋がっていくのだと感じることができました。コロナ対策以外にも、学校で食べる美味しい給食や部活の備品など学校生活でかかせないものが税金でまかなわれていることなど今、当たり前にあることが当たり前ではないことを知ること大切だと気付かされました。

新型コロナウイルスが収まってきて安心して過ごせる毎が続いていますが、いつまた、社会が混乱を起こすか分からない状況です。そんな中で国民全員が自分たちの未来のためにきちんと税を納めることがこれからの社会生活の為に必須だと考える良い機会になりました。

僕も大人になったたくさん税金を払うときがきます。税金が負担になってしまふこともあるかもしれないけど、回り回って自分にかえてくることを知っておくことで税を納める意味も分かってくると考えることができました。税が社会を支えていることを忘れず生活していきたいと心から思えました。

